

がん医療社会学

Cancer medical sociology

単位数：5単位

- 磯部 威 教授：呼吸器・臨床腫瘍学 木下芳一 教授：内科学第二
椎名浩昭 教授：泌尿器科学 猪俣泰典 教授：放射線腫瘍学
関根浄治 教授：歯科口腔外科学 齋藤洋司 教授：麻酔科学
熊倉俊一 教授：地域医療教育学

1. 科目の教育方針

がん医療社会学においては、地域に多い高齢者や合併症を有する患者のがん治療学として、最適ながん医療が提供できる医療従事者を育成する。がん患者がその居住する地域にかかわらず、科学的知見に基づく適切ながん医療を受けることができるようにすること、がん患者が置かれている状況に応じ、本人の意向を十分尊重して治療方法等が選択されるという、がん対策基本法の基本理念を理解し、患者のQOL（生活の質）や副作用対策についての臨床研究、医療費に関するがん医療社会学、地域での終末期医療や緩和医療学に関して学ぶ。がん診療における「対話」の重要性を理解し、地域医療においての多職種によるチーム医療の重要性と実際に学ぶ。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

地域に多いunfit populationと呼ばれる、高齢者や合併症を有するがん患者に対して、診断、病状説明、最適な治療について対話ができる医療従事者を育成することを目標とする。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) がん患者のQOL（生活の質）について理解する。
- 2) 各臓器別のがん腫について診断、治療戦略を学ぶ。
- 3) 高齢者や合併症を有するがん患者への対応を学ぶ。
- 4) がん診療におけるチーム医療について学ぶ。
- 5) がん診療における対話の重要性を理解する。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

4. 成績評価の方法

プレゼンテーションの内容、討論への取り組み状況、課題レポート等について行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

※適宜文献、資料などを配布する。

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	がん医療における対話の重要性	磯部 威
2	地域がん医療と地域医療医の育成	熊倉俊一
3	I C Tを用いた緩和ケア研修	齊藤洋司
4	放射線治療の適応	猪俣泰典
5	口腔がんと口腔ケア	関根浄治
6	口腔がんの現状と地域連携	関根浄治
7	泌尿器がんの現状と地域連携	椎名浩昭
8	消化器がんの現状と地域連携	木下芳一
9	Q O L（生活の質）評価	磯部 威
1 0	地域がん医療とチーム医療	磯部 威
1 1	地域がん医療における看護師の役割	磯部 威
1 2	地域がん医療における薬剤師の役割	磯部 威
1 3	I C Tを用いた地域がんチーム医療	磯部 威
1 4	演習（模擬試験）	磯部 威
1 5	総括	磯部 威